

## 第4回 電子情報化委員会 議事録（抜粋）

日 時：2003年2月3日（月） 15:00～19:15

場 所：JCI 会議室

出席者：丸山委員長，中村幹事，岸本，斉藤，柄，馬場，日比野，森の各委員，  
畑中先生

（事務局）山下専務，井上，宇野，竹田，戸口，藤野（KCC）小林，窪田，平山  
配布資料：

4-0 議事次第

4-1 第3回電子情報化委員会議事録（案）

4-2 電子投稿・査読システムに関するご報告（KCC）

4-3 戦略WGメモ（戦略WG）

4-4-1 電子決済に係る調査報告書(案)（KCC）

4-4-2 JCI電子化におけるシステムの全体像(案)（KCC）

4-5 JCI電子化検討表(案)（戦略WG）

会員データベースの電子化に関する検討

シンポジウムの電子化に関する検討

会誌の電子化に関する検討

コンクリート年次大会の電子化に関する検討

技士・診断士試験の電子化に関する検討

入会案内の電子化に関する検討

4-6 研究専門委員会の成果物の電子化マニュアル(案)

4-7 JCI年次大会論文査読者へのアンケートのお願い(案)

議 事：

1. 第3回議事録（案）の確認

・中村幹事より第3回電子情報化委員会議事録（案）の確認が行われ、西暦の修正の上了承された。

2. 論文投稿について（報告）

- ・電子投稿は、期間中に大きなトラブルは無く、1/28(火)に予定通りに締め切った。投稿件数は、705件であった。今年は、最終日に全投稿の半数程度の件数が集中して投稿された。
- ・著者側の責任（投稿側のシステムの不具合も含め）で、投稿が締め切りに間に合わなかった場合は、原稿を受け付けない等の旨を、来年は会告やホームページに掲載し、著者にゆとりをもって投稿してもらうようにはたらしかける。
- ・投稿原稿(PDFファイル)チェックの結果、若干数、軽微なエラーがあった。著者には、修正原稿提出時には直すように、KCCより連絡する。
- ・論文題目が投稿申し込み時と一致していない原稿が27件あった。この情報を、査読委員会に知らせるとともに、最終時点での論文題目と送付時の入力題目が一致していないと目次題目と不整合が生じるため、査読委員会に十分に確認してもらうよう連絡する。
- ・外部査読委員の選定システムは、H14年12月27日～H15年1月21日の間に運用を行った。大きなトラブルは無かった。選定システム使用後の意見集約を岸本委員が行う。

3. 年次大会関係作業について

つくば大会のCD-ROMに関して意見および改善案の意見交換を行った。内容を以下に示す。委員の意見および改善案は、日比野委員がメール等で集約し、京都大会の

CD-ROM に反映できるように、馬場委員から講演部会へ提案する。

- ・ CD-ROM版論文集の起動について

現 状：オートランで「はじめにお読みください」が表示され、search.exeを起動するまでの手順が煩雑。

改善点：起動手順を簡素化する。

- ・ ドライブの指定

現 状：使用しているPCのドライブ構成をきちんと理解していないので、適切なドライブを指定する際に手間取る。さらに、間違っただライブを指定しても、検索結果は表示されるが、論文本体だけが表示されないの、どこで操作を間違っただかわからない。

改善点：ドライブを指定しなくても検索結果から論文本体が表示できる。ドライブの指定を間違っただときはエラーメッセージを表示し、正しいドライブの入力を促す。

ドライブ構成を確認する手段をインストラクションに盛り込む。

- ・ ハードディスクからの利用

現 状：必要なファイルをドライブのルートディレクトリにコピーし、さらに、正しいドライブを指定すれば、ハードディスクから利用できる。

改善点：ハードディスクへインストールできるようにする。この点は、CD-ROMのコピーを推奨しないことと、ハードディスクへコピーしたために生じたトラブルへの対応を考慮すると、ハードディスクへのコピー方法などは表向き示さないのが妥当と考えられる。

- ・ 検索結果の表示

現 状：著者が登録したキーワードを用いて検索すると、連名者を含めた著者の数だけ検索結果が、表示される。

改善点：表示を簡素化し、筆頭著者だけの表示にする。

なお、複数年の CD-ROM を一度に検索が可能にならないかという意見が出たが、この方法に関しては、京都大会までの対応とせず、KCC で検討を行う。

#### 4. 電子決済に関わる調査報告書について

- ・ KCC から報告書の概要が説明された。
- ・ クレジット決済の導入が、e-チケットよりも先行して行いやすいことが説明された。
- ・ 報告書は、2月中を目処に完成し、3月28日の理事会に提出する。
- ・ 3ページ程度のダイジェスト版を作成する。
- ・ リスク管理についてもまとめる。
- ・ システム構築には、セキュリティーとコストのバランスが重要となる。
- ・ 委員は、報告書に対する意見がある場合は2月中にKCCに連絡する。

#### 5. 電子化検討項目について

- ・ 畑中先生の作成している過去の年次大会論文集(1~23巻)の検索システムについて説明があった。完成次第運用する予定。京都大会の会場でパソコンを置いて紹介できないか、大会実行委員会に打診する。
- ・ 論文検索システムについては、畑中先生のシステムを活かすことを前提に、別途委員会でも検討する。
- ・ 4~5年以内で運用可能なシステムを戦略WGでプライオリティーを付けて選定し、委員会に提案する。
- ・ 会員データベースは、電子化のシステムを中心となるが、ネットワーク上に置くには、セキュリティーの問題があることがわかった。

- ・ 電子決済の方法(カード、銀行振込、コンビニ決済、)や決済業者の選定、電子決済システムと各システム(大会参加申し込み、文献検索・購入などのシステム)との連携方法を検討することが必要であることがわかった。
  - ・ 今後出版する文献は、なるべく電子化して保管することを推進する。過去の文献は、需要や検索システムに必要なキーワードの選定方法や作業量等に応じて進める必要があることがわかった。
  - ・ 電子情報化委員会以外で進めている電子化に関しても、今後は、当委員会で把握するようにする。
  - ・ 次回委員会までに戦略 WG を開催する。
6. 委員会報告書の電子化について
- ・ 研究専門委員会の成果物(報告書)の電子化を今年度から進めることとした。
  - ・ 2 月中に、電子化に対応した研究委員会報告書の執筆要領案を日比野委員、森委員が作成する。年次大会の執筆要領を参考にする。
7. 査読システムについて
- ・ 査読の電子化に関するアンケート案が完成した。2/5 以降に、今回の年次大会(京都大会)の外部査読委員への送付資料に同封して郵送する。
  - ・ 今後、査読システムの検討は、朱書による査読意見の提出は行わない方向で進める。
  - ・ 今年度の反省点も踏まえ夏頃には完成させるように作業を進める。
8. その他
- ・ 次回日程：H15 年 3 月 24 日 (月) 15:00 ～
  - ・ 次回委員会以前に戦略 WG を開催し、報告書等を事前に検討する。

以 上